

各学科の研究業績等（平成30年10月～令和元年9月）

人間科学科哲学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 遠藤寿一：私たちの死、動物主義、ナラティブ同一性－インテグリティの観点から－. 岩手医科大学教養教育研究年報. 53：19-28（2018）

人間科学科法学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 廣瀬清英：医学教育における医療法学. 岩手医科大学教養教育研究年報. 53：51-65（2018）

[著書]

- 1) 廣瀬清英：診療報酬，診療報酬明細書，耐性菌感染症，代替医療. 『医事法辞典』. *甲斐克則（代表編集）. 有斐閣. 324-325, 375-376（2018）

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) *塚田敬義, *瀬戸山晃一, *鶴飼万貴子, 廣瀬清英：医学部教育における人文社会科学教育の意義と実践～医事法と医療倫理科目を中心として～. 第51回日本医学教育学会大会. 7月. 京都府立医科大学.
- 2) 廣瀬清英：法学教育へのICT導入による効果－反転授業の導入と成績評価の改善－. 初年次教育学会第12回大会. 9月. 創価大学.

人間科学科心理学・行動科学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 相澤文恵, 藤澤美穂, 佐藤洋一：RIPLS日本語版に関する一考察—「チーム医療リテラシー」における調査結果をもとに—. 岩手医科大学教養教育研究年報. 53：29-38（2018）
- 2) 藤澤美穂, 氏家真梨子, 畠山秀樹, *高橋智幸, 松浦誠：看護系学部での臨床実習における学生のストレス. 岩手医科大学教養教育研究年報. 53：39-50（2018）
- 3) 藤澤美穂, *藤信子, *田原明夫, *高林健示, *安部康代, *針生江美, *長友敦子：東日本大震災等の相互支援グループⅦ. 集団精神療法. 34(2)：211-212（2018）
- 4) 藤澤美穂, *藤信子, *田原明夫, *高林健示, *安部康代, *針生江美, *長友敦子：東日本大震災等の相互支援グループ－震災から5年8ヶ月後～7年7ヶ月の経過－. 集団精神療法. 35(1)：61-67（2019）

[国内学会発表（一般講演）]

- 1) 松浦誠, 藤澤美穂, *前田智司, 高橋寛：長期実務実習における学生の身体的あるいは精神的

- 負担の評価. 日本薬学会第139年会. 2019年3月. 幕張.
- 2) 藤澤美穂：岩手での被災者支援、グリーンケアの実践. 日本心理臨床学会第38回大会. 自主シンポジウム－災害時における長期的な支援「遺族のグリーンケア」のあり方を考える（企画者：*矢永由里子）. 2019年6月. 横浜.
 - 3) 相澤文恵, 藤澤美穂, 木村祐輔, 佐藤洋一：多職種連携教育への行動科学の応用. 第51回日本医学教育学会・学術大会. 2019年7月. 京都.
 - 4) 奈良場博昭, 小澤正吾, 青山玲子, 佐々木亮平, 木村祐輔, 相澤文恵, 佐藤洋一：4学部合同での専門職連携教育「チーム医療リテラシー」の実施について－医・歯・薬・看の3年次学生による Inter Professional Education (IPE) の実施報告－. 2019年8月. 大阪.
 - 5) 佐藤佳奈枝, 鈴木奈津子, 相澤文恵, 岸光男：行動科学理論に基づく歯科保健指導のためのカリキュラム 第4報 評価法の検討. 2019年9月. 名古屋.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成28-30年度 科研費：基盤研究（C）
研究課題：薬学長期臨床実習におけるアミラーゼ活性を指標とした新規ストレス評価系の構築.
研究代表者：松浦誠 研究分担者：藤澤美穂
- 2) 相澤文恵：日本口腔衛生学会査読委員.
- 3) 相澤文恵：岩手医科大学歯学会評議員.
- 4) 藤澤美穂：岩手県復興局「東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会」委員.
- 5) 藤澤美穂：岩手県社会福祉協議会「被災者実態調査研究委員会」委員（副委員長）.
- 6) 藤澤美穂：日本臨床心理士会「第3期災害支援本部 コアチーム」メンバー.
- 7) 藤澤美穂：日本臨床心理士会「研修企画検討プロジェクトチーム」委員.
- 8) 藤澤美穂：岩手県臨床心理士会 災害支援専門委員会委員長.
- 9) 藤澤美穂：日本集団精神療法学会 相互支援委員会委員.
- 10) 藤澤美穂：仙台市精神保健福祉総合センター「ケース会議」講師.
- 11) 藤澤美穂：社会福祉法人盛岡いのちの電話「グループ研修」講師.
- 12) 藤澤美穂：秋田少年鑑別所職員研修「電話相談への対応について」講師. 2018年10月. 秋田.
- 13) 相澤文恵：ストレス社会におけるストレスとの上手なつきあい方. 株式会社寛文 幹部セミナー. 2018年12月. 二戸.
- 14) *高林健示, *針生江美, *安部康代, *長友敦子, 藤澤美穂：災害について語るグループ主催「研修会」コンダクター. 2019年2月. 東京.
- 15) *安部康代, *針生江美, *田原明夫, *高林健示, *長友敦子, 藤澤美穂, *藤信子：東日本大震災等の相互支援グループ. 日本集団精神療法学会第36回大会. 大会企画ワークショップ. 2019年3月. 東京.
- 16) *野村学, 藤澤美穂：「体験グループ」コンダクター. 日本集団精神療法学会第36回大会. 大会企画ワークショップ. 2019年3月. 東京.
- 17) 藤澤美穂：岩手県立盛岡第二高等学校「新入生対象グループアプローチ」講師. 2019年4月. 盛岡.
- 18) 藤澤美穂：働くことと、心の健康. エフエム岩手ラジオ番組「岩手医科大学～いのちから～」出演. 2019年5月12日. 盛岡.
- 19) 相澤文恵：行動変容に関する理論, 生活習慣病予防に関する保健指導. 令和元年度特定健診・

- 特定保健指導従事者研修会. 2019年7月. 盛岡.
- 20) 相澤文恵：コミュニケーションの基礎演習. 令和元年度特定健診・特定保健指導従事者研修会. 2019年7月. 盛岡.
 - 21) 藤澤美穂, *針生江美：京都集団療法研究会「災害とメンタル・ヘルスグループ体験の中で考える」コンダクター. 2019年7月. 京都.
 - 22) 相澤文恵：初回面接における対象のアセスメントと動機づけの支援について ～行動科学に基づいた保健指導で生活習慣の改善につなげよう～. 令和元年度岩手県立大学看護実践研究センター研修事業. 2019年8月. 盛岡.
 - 23) 相澤文恵：事例をアセスメントして初回面接を考える（演習）. 令和元年度岩手県立大学看護実践研究センター研修事業. 2019年8月. 盛岡.
 - 24) *安部康代, *長友敦子, *針生江美, 藤澤美穂：東北集団精神療法研究会主催研修会「災害とメンタルヘルスーここから見えるもの、聞こえることー」コンダクター. 2019年9月. 気仙沼.

人間科学科体育学分野

[著書]

- 1) 小山薫：健康運動科学. 橋本印刷. 90 (2019)

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 小山薫：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業プロジェクトチーム委員. 岩手県文化スポーツ部. 2019年6月. 盛岡.
- 2) 小山薫：令和元年度公益財団法人盛岡市体育協会評議員. 2019年6月. 盛岡.
- 3) 小山薫：スポーツと社会. 令和元年度岩手県立不來方高等学校体育学系スポーツ医・科学特別講座. 2019年7月. 矢巾.
- 4) 小山薫：（社）日本体力医学会評議員. 2019年9月. 東京.

外国語学科英語分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Yanagiya, C.: Medical cases in *A Burnt-out Case* by G. Greene: Focusing on sickness and healing. *Shirayuri Christian-Cultural Studies*. 20 : 5-15 (2019)

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) Hobbs, J.: A flexible framework for student oral presentations. The Second JANET Conference on Nursing English. Jun. 2019. Nagano.
- 2) Levine-Ogura, J.: Applying the KJ Method to speech assignments for a communicative class activity. Tsugaru Ideas in Language Education Symposium. Sep. 2019. Aomori.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成29-令和元年度 科研費：基盤研究（C）
研究課題：医療倫理教育のためのG. グリーン作品におけるナラティブ解析研究
研究代表者：柳谷千枝子
- 2) 平成26-30年度 科研費：基盤研究（B）
研究課題：音韻的回帰併合の実在性と極小論における音韻部門の位置づけに関する統合的研究
研究代表者：*那須川訓也 研究分担者：大沼仁美
- 3) 平成30-令和元年度 科研費：新学術領域研究
研究課題：音韻範疇を対象とした併合操作により構築される回帰的階層構造の実在性を探求する研究
研究代表者：*那須川訓也 研究協力者：大沼仁美
- 4) ジェイムズ・ホップス：日本医学英語教育学会 評議員
- 5) ジェイムズ・ホップス：全国看護英語教育学会 評議員
- 6) ジェイムズ・ホップス：Journal of Medical English Education 編集委員
- 7) ジェイムズ・ホップス：The Language Teacher 査読者
- 8) ジェイムズ・ホップス：Nursing English Nexus 査読者
- 9) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 評議員
- 10) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 月刊Newsletter編集長

情報科学科数学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Ejiri, S., Ohba, H. and Sasaki, T.: Study on the Statistical Errors in X-ray Stress Measurement with Two-Dimensional Detector. Materials Science Forum. 941 : 2373-2377. (2018)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 江尻正一，大場宏明，佐々木敏彦：cos a 法に対する統計学的評価分析. 2019年度非破壊検査総合シンポジウム. 6月. 東京.
- 2) 江尻正一，大場宏明，佐々木敏彦：cos a 法における測定結果のばらつき評価および精度検定に関する研究. 題53回X線材料強度に関するシンポジウム. 7月. 大阪.
- 3) 長谷川大：曲面上の関数の特異点と輪郭線の微分幾何. 輪郭線認識に関する数理理論の発展と工学への応用. 8月. 福岡.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 江尻正一：文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究 研究題目「3次元半導体検出器で切り拓く新たな量子イメージングの展開」A02-1班:軟X線用の背面反射回析環二次元イメージング機構の開発 研究協力者
- 2) 江尻正一：日本学術助成基金助成金 基盤研究（A） 研究題目「SOI式超高速X線イメージングによるレールの初期転動接触疲労の実態解明」 研究分担者
- 3) 江尻正一：(公社)日本材料学会「X線材料強度部門委員会」委員

- 4) 江尻正一：(一社) 日本非破壊検査協会「 $\cos \alpha$ 法方式X線残留応力測定法研究会」委員
- 5) 長谷川大:日本学術振興会 二国間交流事業 共同研究・セミナー 事業名「ブラジル(CAPES)との共同研究」 研究課題名「特異点論と産業界の数学：若手研究者育成プロジェクト」参加者

情報科学科医用工学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) *Nagase S, *Ohta T, Takahashi F, *Enomoto T.: Annual Report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Patients Report for 2015 and Annual Treatment Report for 2010. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 45(2) : 289-298 (2018)
- 2) *Iwama N, *Metoki H, Takahashi F, et al.: Association between alcohol consumption during pregnancy and hypertensive disorders of pregnancy in Japan: Japan Environment and Children's Study. Hypertension Research 42(1) : 85-94 (2019)
- 3) *Nomura H, *Aoki D, Takahashi F, et al.: A randomized phase III trial of docetaxel plus cisplatin or paclitaxel plus carboplatin compared with doxorubicin plus cisplatin as adjuvant chemotherapy for endometrial cancer at a high risk of recurrence: a Japanese Gynecologic Oncology Group Study (JGOG2043). JAMA oncology 5(6) : 833-40 (2019)
- 4) *Hattori H, *Kitamura A, Takahashi F, *Arima T, et al.: The secondary sex ratio and the incidence of monozygotic twins in blastocyst transfer: The Japan Environment and Children's Study (JECS) , Reproductive Biology and Endocrinology 17(1) : 27 (2019)
- 5) Kakisaka K, Takahashi F, Takikawa Y, et al.: Hepatitis B surface antibody titers one and two years after hepatitis B virus vaccination in healthy young Japanese adults. Internal Medicine 58(16) : 2349-2355 (2019)

[国際学会発表]

- 1) *Takekuma M, Takahashi F, et al.: Determination of eligibility criteria for salvage hysterectomy after definitive radiotherapy/concurrent chemoradiotherapy to patients with residual cervical disease. ASCO. June 2019. Chicago, USA.
- 2) *Toi Y, *Watanabe K, Takahashi F, Maemondo M, et al.: Randomized phase II trial of uracil/tegafur and cisplatin versus pemetrexed and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced unresectable stage III non-squamous non-small cell lung cancer: NJLCG1001. ASCO. June 2019. Chicago, USA.
- 3) *Hayasaka S, *Takata M, Takahashi F, *Yamaguchi T, et al.: ISO9001 : 2015 certification at Tohoku University Hospital Clinical Data Center in Japan. Society for Clinical Data Management. September 2019. Baltimore, USA.
- 4) *Takata M, *Hayasaka S, Takahashi F, *Yamaguchi T, et al.: Evaluation of ECRIN requirements in ISO 9001 QMS certification for clinical data center. Society for Clinical Data Management. September 2019. Baltimore, USA.

[国内学会発表 (全国)]

- 1) *嶋田南, *遠藤千代, 高橋史朗ら: Quality Management System(QMS)を取り入れたQuality Management Plan(QMP)作成の検討. 日本臨床試験学会 第10回学術大会. 2019年1月. 東京.
- 2) *早坂由紀子, *高田宗典, 高橋史朗ら: 臨床試験データセンターでのISO9001:2015承認取得に向けたQMSの構築. 日本臨床試験学会 第10回学術大会. 2019年1月. 東京.
- 3) 大澤正樹, 丹野高三, 小笠原邦昭, 高橋史朗ら: 岩手県北地域における死亡, 脳卒中, 心筋梗塞, 心不全罹患状況について, 10.5年間のコホート研究結果より. 日本循環器病予防学会. 2019年5月. 福岡.
- 4) 千葉亮祐, *渡邊香奈, 高橋史朗, 前門戸任ら: Ⅲ期非扁平非小細胞肺癌に対するUFT+CDDP+TRTとPEM+CDDP+TRT併用療法の第Ⅱ相試験: NJLCG1001. 臨床腫瘍学会. 2019年7月. 京都.

[国内学会発表 (地方会関係)]

- 1) 高橋史朗: 安全性の議論のための統計学的知識—シグナル検出—. 臨床薬理学会 第3回北海道東北地方会. 2019年6月. 福島.

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 高橋史朗: 日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する長期疫学研究 分担研究者 (H30-H32)
- 2) 高橋史朗: 東北大学病院 臨床研究講習会「実施計画と研究デザイン」. 2018年11月. 仙台.
- 3) 高橋史朗: 日本肺がん学会東北支部 J-TAIL研究会「観察研究における研究意義について」. 2019年4月. 仙台.
- 4) 高橋史朗: 東北大学病院 臨床研究・治験従事者研修 (AMED) ワークショップ「RCT論文のレビュー」. 2019年2月. 仙台.
- 5) 高橋史朗: 東北大学病院 治験・倫理審査委員会委員研修 (AMED)「研究倫理審査のポイント—科学的・倫理的観点から—」. 2019年9月. 仙台.
- 6) 高橋史朗: 日本医師会「医師主導治験に係る手順書等の作成WG」委員
- 7) 高橋史朗: 岩手医学会 査読委員
- 8) 高橋史朗: 東北大学病院「病院臨床研究倫理委員会」委員
- 9) 高橋史朗: 東北大学「認定臨床研究審査委員会」委員
- 10) 高橋史朗: 日本がん臨床試験推進機構「プロトコール評価委員会」委員
- 11) 高橋史朗: 東北臨床研究審査機構「共同臨床研究審査委員会」委員

物理学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Sato, E., Oda, Y., Sagae, M., Yoshida, S., Yamaguchi, S., Sato, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: Development of an amplifier module for measuring X-ray spectra using a photomultiplier tube. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center

Lib. Arts Sci. 53 : 1-6 (2018)

- 2) Sato, E., Oda, Y., Sagae, M., Yoshida, S., Yamaguchi, S., Sato, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: High-sensitivity compact dosimeter using two silicon X-ray diode. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 53 : 7-12 (2018)
- 3) Moriyama, H., Watanabe, M., Kusachi, S., Oda, Y., Sato, E.: Low-dose low-scattering X-ray computed tomography with high-spatial-energy resolutions using a cooled cadmium telluride detector. Ultramicroscopy 199 : 62-69 (2019)
- 4) Yamaguchi, S., Sato, E.: Product development of a condenser dosimeter using a skin-insulated USB-A substrate with a silicon X-ray diode. Radiological Phys. Tech. 12 : 69-75 (2019)

[学術論文 (英文・その他)]

- 1) Yoshida, S., Sato, E., Oda, Y., Yoshioka, S., Ehara, S., Moriyama, H., Hagiwara, O., Enomoto, T., Watanabe, M.: Investigation of low-dose energy-dispersive x-ray computed tomography utilizing beam hardening. Proc. SPIE 11114 : 111141H-1-6 (2019)
- 2) Sato, E., Sato, Y., Yoshida, S., Yoshioka, K., Moriyama, H., Watanabe, M.: Intense nickel-K-photon irradiation from weakly-ionized linear plasma x-ray source with a reflector. Proc. SPIE 11114 : 111141E-1-6 (2019)
- 3) Watanabe, M., Sato, E., Yoshida, S., Yoshioka, K., Oda, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Enomoto, T.: Photon-counting x-ray computed tomography using a YAP(Ce)-PMT detector and beam hardening. Proc. SPIE 11114 : 111141D-1-6 (2019)
- 4) Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Yoshida, S., Moriyama, H., Watanabe, M.: 850-nm near-infrared-ray computed tomography with high spatial resolutions. Proc. SPIE 11073 : 110730N-1-6 (2019)
- 5) Moriyama, H., Sato, E., Oda, Y., Yoshida, S., Hagiwara, O., Enomoto, T., Watanabe, M.: Measurement of human-body-window spectra using a white power light-emitting diode and its application to high-spatial-resolution computed tomography. Proc. SPIE 11073 : 1107321-1-6 (2019)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 小松真：矩形断面流路内の水中絶縁破壊によるインジゴカルミン溶液の脱色. 岩手医科大学教養教育研究年報. 53 : 13-18 (2018)

[国際学会発表 (招聘講演等)]

- 1) Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Morikaya, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: Intense nickel-K-photon irradiation from weakly-ionized linear plasma X-ray source with a zinc reflector. 32nd Int. Congr. High-Speed Imaging and Photonics. October 2018. Twente.

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) Watanabe, M., Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Yamaguchi, S., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Kusachi, S.: High-speed tripe-energy X-ray photon counter using a room-temperature cadmium-telluride detector and its application to high-spatial-resolution

- low-dose computed tomography. 32nd Int. Congr. High-Speed Imaging and Photonics. October 2018. Twente.
- 2) Sato, Y., Sato, E., Oda, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: High-speed dual-energy X-ray photon counter using a YAP(Ce)-photomultiplier detector and its application to low-dose computed tomography. 32nd Int. Congr. High-Speed Imaging and Photonics. October 2018. Twente.
 - 3) Yamaguchi, S., Ariga, H., Ehara, S.: Fundamental study on a disposable condenser dosimeter using a skin-insulated USB-A substrate with a silicon X-ray diode in radiation therapy. Asia-Oceania Congress on Medical Physics. November 2018. Kuala Lumpur.
 - 4) Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: 850-nm-peak high-spatial-resolution near-infrared-ray computed tomography in the living-body window. Asia-Oceania Congress on Medical Physics. November 2018. Kuala Lumpur.
 - 5) Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M., Kusachi, S.: Low-dose tripe-energy X-ray computed tomography using a cadmium telluride detector with high-spatial and -energy resolutions. Asia-Oceania Congress on Medical Physics. November 2018. Kuala Lumpur.
 - 6) Sato, E., Oda, Y., Sato, Y., Yoshida, S., Moriyama, H., Watanabe, M.: 850-nm near-infrared-ray computed tomography with high spatial resolutions. European Conferences on Biomedical Optics. June 2019. Munich.
 - 7) Moriyama, H., Sato, E., Oda, Y., Yoshida, S., Hagiwara, O., Enomoto, T., Watanabe, M.: Measurement of human-body-window spectra using a white power light-emitting diode and its application to high-spatial-resolution computed tomography. European Conferences on Biomedical Optics. June 2019. Munich.
 - 8) Yoshida, S., Sato, E., Oda, Y., Yoshioka, S., Ehara, S., Moriyama, H., Hagiwara, O., Enomoto, T., Watanabe, M.: Investigation of low-dose energy-dispersive x-ray computed tomography utilizing beam hardening. SPIE Optics+Photonics. August 2019. San Diego.
 - 9) Sato, E., Sato, Y., Yoshida, S., Yoshioka, K., Moriyama, H., Watanabe, M.: Intense nickel-K-photon irradiation from weakly-ionized linear plasma x-ray source with a reflector. SPIE Optics+Photonics. August 2019. San Diego.
 - 10) Watanabe, M., Sato, E., Yoshida, S., Yoshioka, K., Oda, Y., Moriyama, H., Hagiwara, O., Enomoto, T.: Photon-counting x-ray computed tomography using a YAP(Ce)-PMT detector and beam hardening. SPIE Optics+Photonics. August 2019. San Diego.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 小松真：断面形状による水中放電誘起キャビテーションの差異. 平成31年電気学会全国大会. 2019年3月. 札幌.
- 2) 吉田宗平, 江原茂, 佐藤英一：冷却CdTe検出器を使った低線量デュアル・ワイドエネルギーX線CT. 第78回日本医学放射線学会総会. 2019年4月. 横浜.
- 3) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 吉田宗平, 江原茂：生体窓領域における850 nm高空間分解能近赤外線CT. 第117回日本医学物理学学会学術大会. 2019年4月. 横浜.

- 4) 小田泰行, 佐藤英一, 佐藤裕一, 吉田宗平, 山口哲, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤公悦: YAP (Ce)-PMT検出器を使った高速デュアルエネルギー X線フォトンカウンティングと低線量CTへの応用. 第117回日本医学物理学会学術大会. 2019年4月. 横浜.
- 5) 佐藤英一, 小田泰行, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 吉田宗平, 山口哲, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤公悦: Intense nickel-K-photon irradiation from weakly-ionized linear plasma X-ray source using a zinc reflector. 第117回日本医学物理学会学術大会. 2019年4月. 横浜.
- 6) 佐藤英一, 小田泰行, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 吉田宗平, 山口哲, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤公悦: Dual-energy X-ray computed tomography using a cadmium-telluride array detector. 第117回日本医学物理学会学術大会. 2019年4月. 横浜.

[国内学会発表 (地方会関係・一般講演)]

- 1) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 江原茂: 生体窓領域における850 nm高空間分解能近赤外線CT. 第52回日本生体医工学会東北支部大会. 2019年2月. 仙台.
- 2) 佐藤英一, 佐藤裕一, 小田泰行, 吉田宗平: CdTeを用いた低線量・高空間分解能エネルギー弁別X線CT. 第52回日本生体医工学会東北支部大会. 2019年2月. 仙台.
- 3) 佐藤英一, 佐藤裕一, 小田泰行, 吉田宗平: 亜鉛リフレクタ付き弱電離線状ニッケルプラズマX線源から発生する強烈でクリーンなKフォトン. 第52回日本生体医工学会東北支部大会. 2019年2月. 仙台.

化学科

[その他 (研究費等)]

- 1) 令和元-3年度 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)
研究題目「マスト細胞の脱顆粒応答は分泌刺激の種類で変化するか?—イメージングによる解析—」
研究代表者 東尾浩典 研究分担者 齋野朝幸, 横山拓矢
- 2) 平成30-令和元年度 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究
研究題目「食材ポリアセチレン化合物による糖新生抑制効果と統合的代謝調節機構の解析」
研究代表者 吉田潤
- 3) 令和元-2年度 日本学術振興会 二国間交流事業共同研究 [B オープンパートナーシップ共同研究・セミナー]
研究題目「エンドファイトを利用したカメルーンにおけるバナナ病原菌の防除を目指した共同研究」
研究代表者 塩野義人 日本側共同研究者 俵谷圭太郎, 佐藤智, 吉田潤, ナナン ルディアント アリエフタ, 中村智紀, 横山靖洋
- 4) 令和元年度 飯島藤十郎記念食品科学振興財団 2018年度学術研究助成金
研究題目「主要穀類・豆類に含まれる脂肪酸類の酵母を用いた多彩な機能性の評価」
研究代表者 木村賢一 共同研究者 吉田潤

生物学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Abe, H., *Tanaka, M., *Taru, M., * Abe, S., *Nishigaki, A.: Molecular evidence for the existence of five cryptic species within the Japanese species of *Marphysa* (Annelida: Eunicidae) known as “Iwa-mushi” . Plankton & Benthos Research. (In press)
- 2) *Takesita, F., *Murai M., Matsumasa M., *Henmi Y.: Multimodal signaling in fiddler crab: waving to attract mates is condition dependent but other sexual signals are not. Behav. Ecol. Sociobiol. 72 : 140. <https://doi.org/10.1007/s00265-018-2555-x> (2018)
- 3) Abe, H., *Hamaguchi, M., *Kajihara, N., *Taniai, Y., *Oshino, A., *Moriyama, A., *Kamiyama, T.: Population dynamics of the Manila clam, *Ruditapes philippinarum*, and implications of the 2011 tsunami impacts in two shallow, semi-enclosed bays in northeastern Japan. In: Komatsu T., Ceccaldi HJ., Yoshida J., Prouzet P., Henocque Y. (eds) Oceanography Challenges to Future Earth. Springer, Cham. pp. 365-386 (2019)
- 4) Abe, H., *Takeuchi, T., *Taru, M., *Sato-Okoshi, W., *Okoshi, K.: Habitat availability determines distribution patterns of spionid polychaetes (Annelida: Spionidae) around Tokyo Bay. Marine Biodiversity Records 12 : 7, 12 pp. (2019)
- 5) *Simon, C.A., *Sato-Okoshi, W. and Abe, H.: Hidden diversity within the cosmopolitan species, *Pseudopolydora antennata* Claparède 1869 (Spionidae: Annelida). Marine Biodiversity 49 : 25-42 (2019)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 阿部博和, *富岡森理, *小林元樹, *伊藤 萌: 利尻島沿岸のスピオ科多毛類相 (環形動物門). 利尻研究. 38 : 15-27 (2019)
- 2) *小林元樹, 阿部博和, *伊藤 萌, *富岡森理, *小島茂明: 利尻島の海産環形動物. 利尻研究. 38 : 29-41 (2019)
- 3) 三枝 聖, *藤田さちこ, *高宮正隆, *出羽厚二, *青木康博: ヘリグロヒラタケシキスイ *Omosita discoidea*の越冬後の活動再開に関する一知見. 法医学の実際と研究. 61:129-131 (2018)

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 松政正俊: 東北地方太平洋沖地震津波と復興事業に伴う生態系への影響. 月刊 海洋. 586 : 418-423 (2019)
- 2) *佐藤慎一, *折田亮, *山川彩子, 阿部博和, 松政正俊: 諫早湾閉め切りから20年, 有明海の現状と未来を考える. 日本ベントス学会誌. 74 : 41-42 (2019)

[国際学会発表 (招聘講演等)]

- 1) 三枝 聖: 岩手県における法昆虫学実務の現状と課題. 2018 The Entomological Society of Korea Annual Meeting & Symposium. Insects, Friends and Foe. November 30, 2018. Seoul, Korea. (基調講演: 日本語講演・韓国語同時通訳)

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Abe, H., *Tanaka, M., *Taru, M., *Abe, S., *Nishigaki, A.: Molecular evidence for the existence of cryptic species within the polychaete worms known as 'Iwa-mushi' in Japan (Annelida: Eunicidae: *Marphysa*). 13th International Polychaete Conference. Aug. 2019. Long Beach, USA.
- 2) Abe, H., *Yamada, K., *Hoshino, O., *Ogino, T., *Kawaida, S., *Sato-Okoshi, W.: A novel symbiotic relationship between ascidians and an undescribed tunic-boring polychaete (Annelida: Spionidae: *Polydora*). 13th International Polychaete Conference. Aug. 2019. Long Beach, USA.
- 3) *Sato-Okoshi, W., *Okoshi, K., *Dauvin, J.-C., Abe, H.: Polydorid species (Annelida, Spionidae) associated with calcareous substrates from Normandy, France. 13th International Polychaete Conference. Aug. 2019. Long Beach, USA.
- 4) *Kobayashi, G., *Itoh, H., *Tsunamoto, Y., *Mitsuyuki, C., *Matsuo, A., *Suyama, Y., *Sato-Okoshi, W., Abe, H., *Naiki, K., *Kojima, S.: Population genetics of two Japanese maldanid species based on mitochondrial DNA and nuclear single nucleotide polymorphisms. 13th International Polychaete Conference. Aug. 2019. Long Beach, USA.

[国内学会発表（全国・招聘講演等）]

- 1) 松政正俊：東北地方太平洋沖地震津波と復興工事に伴う生態系への影響。平成31年度日本水産学会春季大会・水産環境保全委員会シンポジウム「東日本大震災復興事業による沿岸域の改変が沿岸生態系に何をもたらすか?」。2019年3月。東京。

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 阿部博和：日本産*Spio*属（環形動物門：スピオ科）の分類学的再検討。2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。2019年9月。静岡。
- 2) *梶山健悟，*大越健嗣，阿部博和：東京湾奥部の潮間帯における埋在性スピオ科多毛類の種組成の季節変化。2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。2019年9月。静岡。
- 3) *小林元樹，*伊藤萌，*金谷弦，阿部博和，*小島茂明：コメツキガニとヤマトオサガニの遺伝的集団構造。2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。2019年9月。静岡。
- 4) *長崎礼資，*片桐耕，*岩淵巽，阿部博和，*小林元樹，*西谷豪，*大越和加：東北地方太平洋沖地震前後における女川湾湾奥のマクロベントス群集構造の変化（2007-2019）。2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。2019年9月。静岡。
- 5) *海上智央，*加藤雅文，*青木美鈴，*多留聖典，*鈴木孝男，*荒井美穂子，阿部博和，*伊藤萌，*金谷弦：石川県七尾湾海岸のベントス相。2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会。2019年9月。静岡。
- 6) 三枝 聖，*高宮正隆，*藤田さちこ，*出羽厚二，*青木康博：ホホアカクロバエ *Calliphora vicina*の低温飼育環境における積算時度（ADH）。第103次日本法医学会学術全国集会。2019年6月。仙台。
- 7) 阿部博和，*大越和加：多毛類浮遊幼生の分類と同定。平成31年度日本水産学会春季大会。2019年3月。東京。
- 8) *加藤雅文，*海上智央，*青木美鈴，*多留聖典，*鈴木孝男，*荒井美穂子，阿部博和，*伊藤萌，

*金谷弦：七尾湾海岸の干潟ベントス相調査. 第63回水族館技術者研究会. 2018年11月. 七尾.

[国内学会発表（全国・その他）]

- 1) 阿部博和：多様化・進化研究の材料としてのスピオ科多毛類. 2019年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会 自由集会「環形動物の多様性と進化」. 2019年9月. 静岡.

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) *小林元樹, *伊藤 萌, *小島茂明, *綱本良啓, *松尾歩, *陶山佳久, *大越和加, *満行知花, 阿部博和, *内記公明：東北地方を中心としたタケフシゴカイ類の遺伝的集団構造. 東北マリンサイエンス拠点形成事業（海洋生態系の調査研究）全体会議. 2019年6月. 仙台.
- 2) *片桐耕, *長崎礼資, *岩淵巽, 阿部博和, *小林元樹, *西谷豪, *大越和加：東北地方太平洋沖地震前後における女川湾奥のマクロボントス群集構造の変化. 東北マリンサイエンス拠点形成事業（海洋生態系の調査研究）全体会議. 2019年6月. 仙台.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 阿部博和：海のみみズ：ゴカイ類（多毛類）の分類学と生態学. 第795回 科学談話会例会. 2019年2月. 盛岡.
- 2) 平成31-令和3年度 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究
研究題目「貝類養殖における害虫多毛類の誘引・着底・穿孔のメカニズムとその起源を探る」
研究代表者：阿部博和
- 3) 平成31年度 厚岸町 平成31年度（2019年度）厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金制度
研究題目「奥田四郎博士が見たマドカスピオの正体を求めて」
研究代表者：阿部博和
- 4) 平成31年度 公益財団法人日本科学協会 2019年度海外発表促進助成
研究題目「Identification guide to the planktonic larvae of marine annelids in Japan」
研究代表者：阿部博和
- 5) 平成31年度 Editage Edge 2018年度エディタージ研究費 英文校正 Grant
研究題目「遺伝子解析であばき出す海産多毛類「イワムシ」に潜む隠蔽種の存在」
研究代表者：阿部博和
- 6) 阿部博和, 松政正俊：日本動物学会東北支部 第6回 動物学フォトコンテスト 最優秀賞「泥の中からこんにちは」. 2019年9月. 盛岡.
- 7) 阿部博和：環境省 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 海域その他無脊椎動物分科会 検討委員（2019年8月～）
- 8) 阿部博和：日本ベントス学会 自然環境保全委員会 委員（2019年4月～）
- 9) 阿部博和：日本ベントス学会 自然環境保全委員会 会計監査（2018年6月～2019年3月）
- 10) 阿部博和：東邦大学理学部 東京湾生態系研究センター 訪問研究員（2016年4月～）
- 11) 阿部博和：環境省 平成31年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業（磯・干潟調査）松川浦サイト 調査員（2019年6月）
- 12) 阿部博和：日本財団 マリンチャレンジプログラム 中高生研究アドバイザー（2018年5月～2019年3月）
- 13) 松政正俊：岩手生態学ネットワーク（代表：松政正俊）市民講座・人と自然と生態学第19回「生

- 物多様性の大切さを知ろう」(一般社団法人 東北地域環境計画研究会とともに企画・運営) (共催: 日本生態学会東北地区会・みどりを守り育てる岩手県民会議). 2019年1月. 盛岡.
- 14) 松政正俊: 広田湾の底生動物相の特徴、特に湾奥の現状とこれから. 広田湾マガキ天然採苗試験結果報告会 (岩手県水産技術センター主催; 於 広田湾漁協米崎・小友支所). 2019年4月. 陸前高田市.
- 15) 松政正俊: 岩手生態学ネットワーク市民講座・人と自然と生態学第20回「スモールワールドの住人達〜8本脚の多様な世界」(企画・運営) (共催: 日本生態学会東北地区会). 2019年9月. 盛岡.
- 16) 松政正俊: 岩手県立博物館協議会委員 (令和元年7月〜令和3年6月)
- 17) 松政正俊: 岩手県根浜海岸復興養浜技術検討委員会委員 (平成29年5月〜)
- 18) 松政正俊: 日本生態学会東北地区会委員 (平成30年4月〜令和2年3月)
- 19) 松政正俊: 日本ベントス学会自然環境保全委員会委員長 (平成29年4月〜平成31年3月)
- 20) 松政正俊: 日本ベントス学会運営委員 (令和元年4月〜令和3年3月)
- 21) 松政正俊: 日本ベントス学会2019年度奨励賞選考委員長
- 22) 松政正俊: 熊本大学くまもと水循環・減災教育研究センター沿岸環境部門学外協力研究者 (平成28年4月〜令和2年3月).
- 23) 松政正俊: *Plankton and Benthos Research* 編集委員 (令和元年4月〜令和3年3月)
- 24) 松政正俊: *Scientifica* 編集委員 (Marine Biology)